



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

— 2022年度 課題別研修事業 —
(終了時評価—2023年4月)

水産指導者養成(重管理)コース(漁労技術グループ)

研修生受入の概要

研修コース名	水産指導者養成(資源管理)コース(漁労技術グループ)
参加国及び参加人数	1か国 4名(パプアニューギニア独立国)
研修コース実施の経緯と背景	<p>我が国かつお・まぐろ漁業の重要な漁場であるパプアニューギニア独立国(以下「PNG」という。)は、沿岸漁業の発展を重要な政策の一つとして掲げている。特に資源に優しい定置網漁業を沿岸小規模漁業の発展に有効と位置づけ、沿岸地域の漁民への普及を図っている。</p> <p>本研修は、PNG政府が海外漁業協力財団の支援を受けて進める沿岸域の定置網漁業に関する試験調査プロジェクト(以下「プロジェクト」という。)の技術的リーダーを対象とし、定置網操業に係る漁労・加工・経営等に関する技術の向上を図るため設定されたコースである。</p>
研修期間及び研修場所	<p>2022年8月24日～9月9日(17日間)</p> <p>一般研修:2022年8月24日(1日間) (研修場所:都内)</p> <p>技術研修:2022年8月25日～9月6日(13日間) (研修場所:漁網会社・工場、水産物加工場、氷見漁業協同組合、定置網漁船、水産関連施設等)</p>
上位目標	関係途上国における水産業の振興が図られる。
研修目標	PNG政府等が推進する沿岸漁業振興・管理を担う良質な技術者等を育成する。
成果	PNG沿岸域の定置網漁業の普及を担う人材の定置網漁業への理解を深め、水産加工・漁労技術が向上した。
活動	<p>1) 一般研修 研修にあたってのオリエンテーション</p> <p>2) 技術研修</p>

	<p>講習：操業の概要、網の構造、網の維持・管理、経営、自然災害対策、漁業許可・規制等</p> <p>実習：定置網の補修等、操業、漁獲物の選別・出荷等、水産加工</p> <p>見学：水産関連施設（水産卸売市場、水産加工場）、定置網操業</p>
投 入	<p>財団側</p> <p>1) 講師等（延べ人数）</p> <p>一般研修：研修監理 5 名</p> <p>技術研修：水産講師 6 名、漁具講師 3 名、専門家 1 名</p> <p>2) 研修資材等</p> <p>一般研修：研修備品等設備</p> <p>技術研修：定置網関連資材等（漁網、ロープ等）</p> <p>受入対象国側</p> <p>投入なし</p>

評 価 事 項

◆ 妥 当 性

1. 研修実施計画は相手国のニーズに合致していたか

PNG 政府は、沿岸漁業の発展を重要な政策としている。特に定置網漁業を沿岸小規模漁業の発展に有効と位置付け、当財団の技術支援の下、定置網漁業の全国的普及を推進している。本研修は、プロジェクトの技術的リーダーの技術と知識の向上を目標としており、当該政策推進を人材育成の観点から支援するもので、相手国のニーズに合致していた。

2. 研修実施計画の妥当性（一般研修・技術研修）

研修実施計画の内容は、定置網の普及を担う技術的リーダーに必要な知識及び漁労技術を広範に習得させるものであり、妥当であった。

3. 研修実施計画は、一般研修期間及び技術研修期間中の研修生活の実態を考慮して作成されたか

定置網の編網工場において、定置網漁具の仕立て等に経験豊富な指導員が、定置網概要講義、補修実習等を指導した。また、氷見漁協において小型定置網操業を見学し、定置網漁業者が、網の構造、網の維持管理、漁業権、経営等について講義した。いずれも専門講師又は研修監理員等を適切に配置する等、研修生活の実態を考慮した計画を作成した。

4. その他

特になし。

◆ 効率性

1. 講師、研修施設、研修資機材等は計画通りに投入され、期待される成果を上げたか
定置網講義には講師を1コマ1名、漁労技術等の講義と実技には漁具講師3名、専門家を1名、研修監理員を1名以上配置した。
また、研修施設等は、各種研修等に使用されているものであり、教材等も予定している各学科講義あるいは実技に対応するものを準備した。
以上の人的及び物的投入は、計画どおり実施され、期待される成果を上げた。
2. 研修内容、水準、技術指導方法は適切に実施されていたか
研修日数、講義、実習の内容及び水準並びに指導方法は、状況に即して、適切に計画され、実施された。
3. その他（研修の効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）
特になし。

◆ 有効性

1. 研修目標の達成度
研修目標：沿岸漁業振興・管理を担う良質な技術者等を育成する
研修生は、プロジェクトの技術的リーダーであり、一定程度の専門知識及び漁労技術を有していたが、本研修を通じて定置網漁業に関する技術と知識をさらに向上させたと判断され、研修目標は達成された。
2. その他（研修生の研修意欲・研修満足度等及び職場における社会・文化、制度上の環境等外部要因が、研修目標の達成に与えた影響等）
特になし。

◆ インパクト

1. 上位目標の達成に対する研修目標の達成の効果は、どの程度見込まれるか
本研修を通じて PNG が推進する定置網の普及を担う人材が育成されることにより、プロジェクトの効果的な実施が図られた。更に、これらの人材が将来指導的立場に立つことにより、今後の関係途上国における良質な技術者等の育成により、上位目標である定置網漁業振興・管理を担う良質な技術者等が育成に大きなインパクトを与えることが見込まれる。

2. 分野別研修事業は、政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果又は負の影響が見込まれるか

研修生の定置網技術者としての専門知識及び漁労技術が向上し、プロジェクトの効率的な実施が図られるとともに、プロジェクト実施地区から他の地区に技術が伝播することにより、当該国の水産業のレベルアップに一定の効果が期待される。

3. その他（計画当初予見できなかった効果又は負の影響が見込まれるか等）

特になし。

◆ 持続性

1. 研修生は帰国後、研修の成果を有効に活用している（できる見込み）か

研修生は、定置網の技術者として習得した知識・技術の普及や一層の業務の効率化、高度化を目指すことが期待され、成果は沿岸漁業振興に有効に活用される見込みである。

2. その他（相手国及び研修生の自立発展に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

以上